

新型コロナウイルス感染拡大における状況と対応について

2020.6.3
久保寺一男

社会福祉法人進和学園

< 学園全体 >

- ・利用者、職員、家族 1000 名の関係者から、陽性者は出ていない。
- ・学園全体のイベント、行事に関しては 8 月ごろまで、中止及び延期にした。
- ・営業などの訪問はできるだけ遠慮していただいている。
- ・新規の受入れ（入所）については原則しない。短期入所も外部は受入れせず、内部に関しては極力しないこととした。
- ・外部とのやり取り（対障害者団体、採用面談等）、また法人内施設間の会議（施設長会、各管理職会、各委員会）は web 会議に移行した。
- ・クラスター及び陽性者が発生した時の対応については、保健会議・施設長会にて検討し、各施設での対応、法人全体での対応と段階的に想定、対応策を決める。
（神奈川県と施設協会が連携、施設でクラスターが発生した時の職員派遣対応を構築。各施設から志願者を募る。）
- ・進和学園は、緊急事態宣言解除後、6 月一杯は同様の対応とする。

< 入所施設 >

- ・家族への対応～帰宅は原則しない。家族の来訪についても極力遠慮してもらっています。定期的な帰宅がないと不安定になる利用者（強度の自閉症のから 2～3 名）については家族の車送迎で実施。

< 通所施設 >

- ・通所状況～生活介護系では、欠席者は 2 割程度である。就労系では、欠席者は各施設数名程度である。
- ・交通期間を利用している利用者については、通所時間帯をいくつかのグループ分けし、混雑を回避。また学園のマイクロバスは学園共同運行でなく、施設個別に変更。
- ・歯磨き介助の必要な方には、家族の同意のもと当面施設では行わないこととした。
- ・就労支援事業所は、しんわルネッサンスとも数名が休み、サンメッセしんわは在宅支援 10 名程度
- ・生活介護関係は、2 割程度休み。
- ・放課後デーサービスは、家族の都合で休むことができない数人の利用者のみ利用。

< 共通事項 >

- ・食事の場所を数か所に、時間帯をずらし実施している。

< 生産事業 >

- ・製パン事業～学校給食、販売所やカフェレストランが自粛のため、売上 9 割減
- ・自動車部品～コロナ自粛で各製作所が 1 週間程度休む。また売れないため、生産調整が入る。
- ・食品加工～トマトジュース関係の通販は売上が 2 割ほど増えたが、その他の生産は減らした。
- ・パンケーキ店～平塚市の判断、湘南平の共同駐車場閉鎖に伴い、閉店している。昨日から再開。

全A ネット

<全A ネット事業の新型コロナの感染拡大による自粛の影響等>

- ①フォーラムの中止～京都2月29日、3月3日衆議院会館
- ②3月理事会と6月27日総会の書面評決
※6月27日の理事会だけはWeb会議で実施予定
- ③10月17日ヤマト福祉財団助成事業を静岡市でフォーラム予定
- ④2021年1月23日、沖縄でフォーラム計画

<新型コロナによるA型事業所の緊急調査実施>

実施対象：全A ネット会員

実施期間：令和2年4月15日～28日

実施事業所：240事業所

調査方法：メールにて依頼

回答事業所：72事業所（回答率30.0%）

調査結果の概要

- ・事業所の開所を縮小したところは4割強（日数を減らした1割、時間を減らした2.5割）
- ・利用者への影響については、3.7割の事業所が影響ありと回答、休業をしてもらっている事業所は2.9割で在り、自宅待機を実施している事業所は1.0割弱であった。純粋な在宅勤務（テレワーク）なのか、感染予防のための自宅待機なのか、しかも要請よるものか利用者・家族の心配で自主的に休むケースなのか、当アンケートでは明確に分けて質問していない。精神的に不安定になり、自宅静養又は入院した事業所は少なかったが、今後予想されるとの回答があった。
- ・生産活動の受注・売り上げについて、影響があったと回答事業所は7割強、受注が減ったとの回答は約6.2割の事業所で在り、売り上げが減ったと回答した事業所は7割弱であった。一部の事業所では、衛生関係製品や通販など事業形態のためか、比較的影響が出ていなかったが、多くの事業所は世間一般の企業のように、自粛の影響を大きく受けている実態が読み取れた。

<みなし雇用研究会報告書>

日本財団助成事業、全A ネットHPに公開、来週にも冊子が刷り上がる予定。

<日本財団のフェイスシールド供給支援事業への協力>

約30事業所が参加希望し、病院への希望聞き取り中

<A型事業認定事業>

延期していた事業所認定作業のために事業所訪問を7月より再開予定。